

平成29年12月26日

京丹波町長 太田 昇 様

京丹波町子ども・子育て審議会
会長 湊 嘉 秀

認定こども園開設に向けた諮問事項に関する審議結果について（答申）

平成29年6月27日付け9京丹子第155号で諮問を受けた「認定こども園開設に向けた基本計画策定に関する事」及び「認定こども園の新園舎整備に関する事」について、別添資料を添付し次のとおり答申します。

「認定こども園開設」と「新園舎整備」は一体的な考えのもと取り組むべき課題である一方、新園舎が須知幼稚園、上豊田保育所及び同下山分園の統合園であり丹波地区に特化した事項であることから、審議会内に「統合園舎整備検討部会」を設け、幼児教育専門家である佛教大学 高橋 司 教授をアドバイザーに迎える中で、候補地選定等の重要案件に関して3回の会合で活発な議論を交わしました。

並行して、審議会においては、町が示す「町立認定こども園開設に係る基本構想」と部会からの「検討結果報告書」を基に、教育分野の専門家であり本町の子ども・子育て支援事業計画策定時の審議会会長を務められた佛教大学 原 清治 教授に助言をいただく中で、就学前児童の健やかな育成支援を共通認識として5回の会合で議論を重ね、審議すべき一つ一つの事項に関し、各委員の熱い思いと、多角的観点から提案や意見を出し合いました。

今回の審議結果は、部会と審議会において慎重審議を重ねた結果に基づき「認定こども園開設」と「新園舎建設」の2つの基本計画（案）をまとめたものであり、町の就学前教育・保育のあり方や将来展望を踏まえて、諮問された事項に対する方向性を示しています。

つきましては、太田町長の強い信念とリーダーシップ、そして町民の皆様との協働のもと、今後より一層、子育て支援施策とりわけ就学前児童に対する教育・保育施策が充実し、平成34年4月1日には基本計画が目標とする3つの町立認定こども園開設が実現するよう、邁進いただくことを願って答申とします。

○添付資料：町立認定こども園開設に係る基本計画（案）

京丹波町立（仮称）たんばこども園新園舎建設基本計画（案）